

# 8月4日(金)永平寺キャンパスにて 普通救命講習会を開催しました

参加者が多数の為、午前の部、午後の部に分けて実施。  
午前の部17名、午後の部22名(職員2名含む)の計39名が参加しました。  
参加者は、昨年に続き応急手当WEB講習を事前に受講しました。

永平寺消防署の担当者より、R4の永平寺町内での救急車出動回数は、  
670件で過去最高。その内蘇生を必要とした件数は21件、救急隊員が  
到着するまでに救急蘇生を行っていた件数が12件、うち、社会復帰  
された方が1名(40代男性)いるそうです。救急車の到着時間は、永平寺  
消防は7分、全国平均は9分という説明がありました。



午前の部担当  
左から宇野さん、梨木さん

## 「倒れた人を発見！」から胸骨圧迫～AED実施



足は肩幅、腕を内側に入れ、  
前傾姿勢で行うことで、  
真っ直ぐに押すことができ  
ると説明を受けて実施。



「倒れた人を発見！」  
から「AED実施」まで  
を行いました。

## ポイントは「強く」「早く」「絶え間なく！」

胸骨圧迫について以下のような説明がありました。

- ・胸骨圧迫は、救急隊が到着するまで行う
- ・本人の反応(意識)があるまで行う ことを基本とした上で、

- ①強さ、深さ 5～6cm(単三電池1本分)沈むまで
- ②速さ 1分間に100～120回のリズムで
- ③継続 中断する時間を短くする

押しっぱなしにすると、心臓のポンプの役割を果たさないため“0に戻す”を意識することが大事。

また、交代するときの位置について、(写真下)心肺蘇生を行っている人の隣ではなく前で待機することで、スムーズで絶え間なく胸骨圧迫を実施できるということでした。

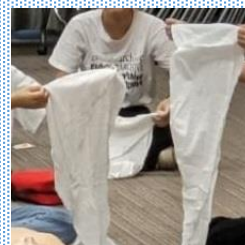


交代者は前で準備



絶え間なく胸骨圧迫を続ける  
ことができます

## 止血圧迫と異物除去



三角巾の使用方法について  
学びました。



ハイムリック法を教える午後の部担当  
左から瀧澤さん、谷原さん

## 講習会を終えて

- ・コロナが5類に移行し、より多くの参加者を募れたことがよかった。
- ・看護学科の生徒が多く、意識が高い印象が感じられた。
- ・一つ一つの動作に対してどのような意味があるのかを、ポイントを押さえとても分かりやすく教えて下さることで、より理解が深まった。
- ・次回は、運動系サークルの代表者の参加を期待したい。